

2016年1月24日

ウィキペディア15周年イベント 東京

Wikipedia 15th birthday TOKYO

@カタリストBA

「ウィキペディア街道」 プロジェクトのご紹介



code for YOKOHAMA



合同会社 緑 I T 事務所
代表 小池 隆

ウィキペディア街道「大山道」

- ➡ 赤坂から大山へ通じる「大山道」沿いでウィキペディアタウンを開催



大山道道標



Code for X 連携プロジェクト

➡ 世田谷、川崎、横浜、神奈川



Code for X って、何？

- ▶ テクノロジー活用による地域課題の解決
 - ▶ セミナー／勉強会
 - ▶ ハッカソン
 - ▶ マッピングパーティー
 - ▶ OpenStreetMap (OSM) の地図作り
 - ▶ Civic Hack Night
 - ▶ インターナショナル・オープンデータ・デイ



code for YOKOHAMA



ハッカソン

- ➡ 2014年には旧東海道をテーマに開催
 - ➡ Code for Kanagawa / Code for Kawasaki



The screenshot shows a web browser window displaying a Peatix event page. The browser's address bar shows the URL 'peatix.com/event/59812'. The Peatix logo and search bar are visible at the top. Below the navigation bar, there is a shareable URL 'http://ptix.co/10bm8vt' and social media sharing buttons for Twitter, Facebook, and a share icon. The main content area features a traditional Japanese illustration of a village with a torii gate. Below the image, the text reads 'イベントは終了です' (Event is over) and '[ハッカソン]旧東海道再発見！アプリと歩こう～シビックテックが結ぶ宿場町～'. At the bottom, there is a '詳細' (Details) section with the following text: '11月から12月にかけて「文化観光」「健康増進」そして「オープンデータの利活用」をテーマにしたアイデアソン、ハッカソンを開催します。イベントチケットは各回それぞれ取得して下さい。' To the right of the details, the event date and time are listed as '2014/12/14 (日) 10:00 - 17:00 JST' and the venue as '会場 横浜情報文化センター7階'.

Peatix イベント検索 新規登録 / ログイン

共有用の URL: <http://ptix.co/10bm8vt> ツイート いいね! シェア 74

イベントは終了です

[ハッカソン]旧東海道再発見！アプリと歩こう～シビックテックが結ぶ宿場町～

詳細

11月から12月にかけて「文化観光」「健康増進」そして「オープンデータの利活用」をテーマにしたアイデアソン、ハッカソンを開催します。
イベントチケットは各回それぞれ取得して下さい。

2014/12/14 (日)
10:00 - 17:00 JST

会場 横浜情報文化センター7階

アプリ開発

- ➡ ゴミ収集日がわかるアプリ
5374（ゴミナシ）の各地域版の開発



世田谷区版

<http://setagaya.5374.jp>

川崎市版

<http://kawasaki.5374.jp>

海老名市版

<http://ebina.5374.jp>

なぜウィキペディア街道か

- ➡ 地域についての学びの機会
 - ➡ 現地調査、図書館、郷土資料館
- ➡ 地域の情報を世界に向けて発信



ウィキペディアタウン



ウィキペディア街道

- ➡ Code for X コミュニティ間の交流
- ➡ (街道でつながった) 他の地域を知る
- ➡ 毎回場所が変わる新鮮さ

イベントの概要

- ➡ ウィキペディアに関するレクチャ
 - ➡ ウィキペディア管理者・執筆者
- ➡ 現地調査
 - ➡ 街歩き、写真撮影
- ➡ 図書館で文献調査
- ➡ ウィキペディア記事の執筆
 - ➡ 時間内に**新規記事**を書き上げる！
 - ➡ **達成感を得ることが継続の秘訣**
- ➡ 成果共有、ゲストの方による講評

Special thanks to
海獺さん Ks aka 98さん
さかおりさん のりまきさん
Araisyoheiさん さえぼーさん

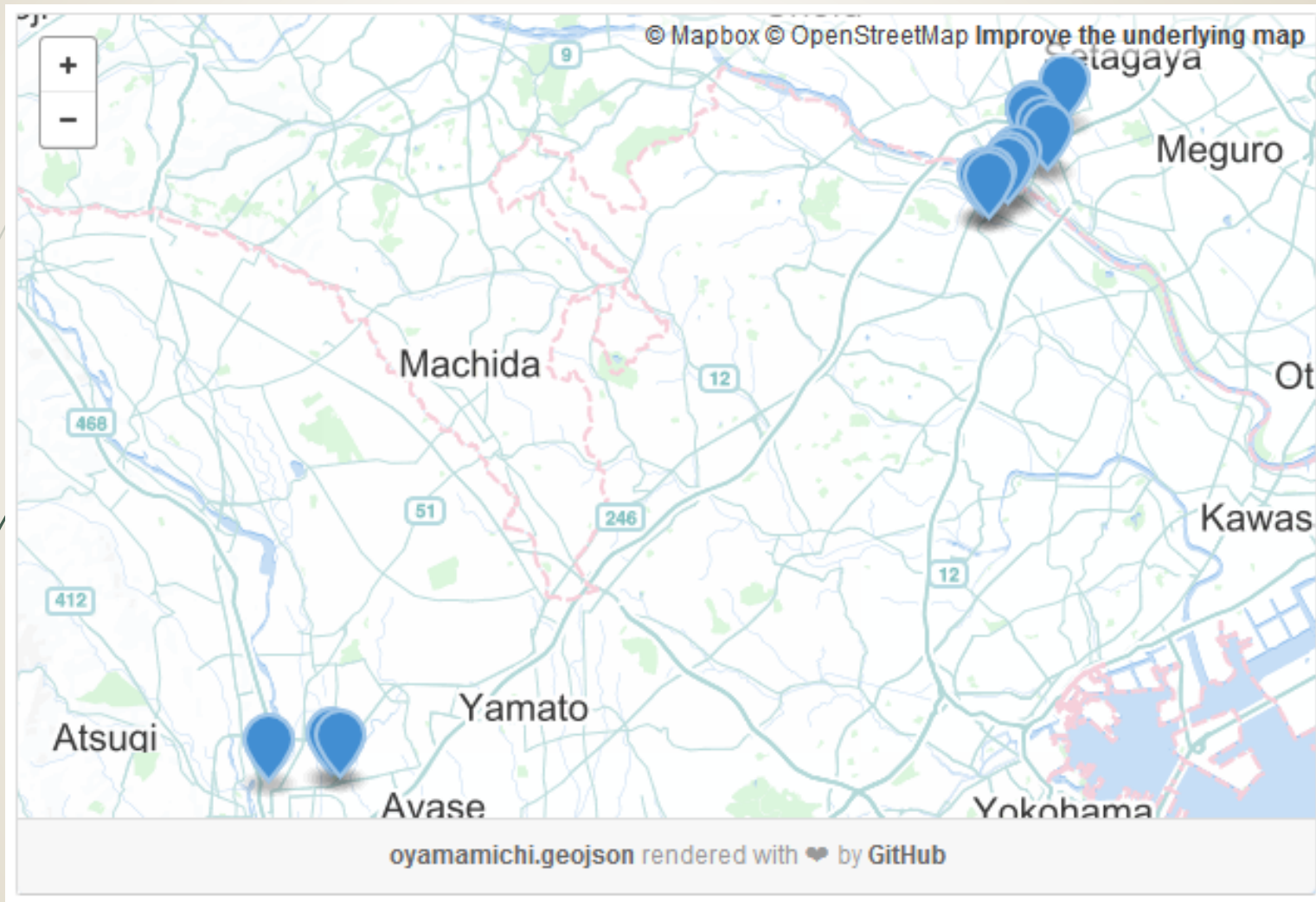
2015年 イベント開催状況①

- ➡ 5月23日 第1回@川崎市
 - ➡ 参加者 18名
 - ➡ 大山街道ふるさと館、溝口神社、光明寺
- ➡ 8月9日 第2回@世田谷区
 - ➡ 参加者 約30名
 - ➡ 用賀神社、瀬田玉川神社、慈眼寺
- ➡ 10月4日 第3回@海老名市
 - ➡ 参加者 20名
 - ➡ 海老名市温故館、国分宿、総持院

2015年 イベント開催状況②

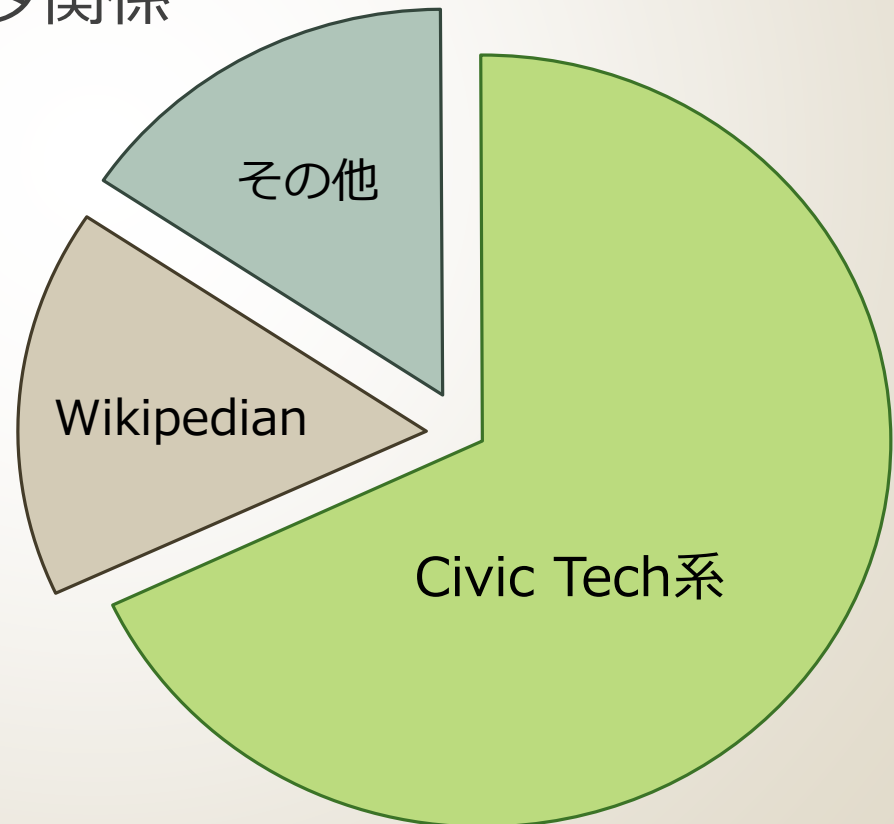
- ➡ 11月3日 第4回@世田谷区
 - ➡ マッピングパーティー同時開催
 - ➡ 参加者 約20名
 - ➡ 行善寺、二子神社
- ➡ 11月7～8日
 - ➡ Code for Japan Summit 2015 ブース出展
 - ➡ 法徳寺、二子宿、溝口宿
- ➡ 12月23日 もくもく会
 - ➡ 参加者 11名
 - ➡ これまでに執筆した記事のブラッシュアップ

進捗状況マップ



参加者属性

- ▶ Civic Tech系が多数
 - ▶ Code for X メンバー
 - ▶ オープンデータ関係
 - ▶ OSMマッパー



メディア掲載

西日本新聞 8月26日夕刊

タウンニュース海老名版

<http://www.townnews.co.jp/0402/2015/10/16/304136.html>

市内名所、ウェブでPR 文化
ウィキペディアに掲載

パソコンを使った情報通信技術で地域活性化を目指す市民グループ「Code for Kanagawa」が10月4日、地元情報をインターネット上の百科事典「ウィキペディア」で発信するためのイベントを開催した。

この日は関係者ら20人が参加し、市内の「大山道」沿いの名所である国分宿、海老名市温故館（国分南）、総持院（河原口）の3カ所を調査。現地へ足を運び写真撮影などを行ったほか、図書館内の参考文献からも歴史を探った。その後、ウィキペディアのベテラン執筆者が「中立な観点から書くこと」「可能な限り検証可能で信頼できる文献を明記すること」など、書き込むためのルールや方法を伝授。グループで議論しながらウィキペディアのページに追加した。

調査した3カ所を執筆する参加者

ウィキ編集で地元再発見

住民書き込む企画広がる

オンライン百科事典「ウィキペディア」に、地域の歴史や文化の情報を住民の手で書き込む活動が広まりつつある。インターネットで検索されることによる地域の知名度向上に加え、書き込んだ人が地元を再発見する効果も。書き込みを促すイベントの主催者は「近所が特別な場所に見えてくる」と強調する。

住民の力で地域の情報を書き込むイベントは「ウィキペディアタウン」などと呼ばれる。日本では2013年に横浜市で初めて開催され、長野県伊那市、北海道森町など各地に広がった。

ウィキペディアの項目はネット検索で上位に表示される傾向があり、個人がブログなどに書くよりも、地域のことをより多くの人に伝えやすいというメリットがある。

東京都世田谷区で9日、約30人が参加し開かれた「ウィキペディア街道」は、都内や神奈川県を通る「大山道」沿いの史跡に焦点を当てた。

「ウィキペディア」は、都内や神奈川県を通る「大山道」沿いの史跡に焦点を当てた。世田谷区に隣接する川崎市から7歳の真々と来た会社員、秋山祥さんらのグループは、メモ帳やタブレットを手には、区内の歴史を調べる活動をした。

ウィキペディアの項目はネット検索で上位に表示される傾向があり、個人がブログなどに書くよりも、地域のことをより多くの人に伝えやすいというメリットがある。

東京都世田谷区で9日、約30人が参加し開かれた「ウィキペディア街道」は、都内や神奈川県を通る「大山道」沿いの史跡に焦点を当てた。

SankeiBiz
ウィキペディアで地域発信 歩いて調べて事典を書く
2015.8.29 07:10

オンライン百科事典「ウィキペディア」に、地域の歴史や文化の情報を住民の手で書き込む活動が広まりつつある。インターネットで検索されることによる地域の知名度向上に加え、書き込んだ人が地元を再発見する効果も。書き込みを促すイベントの主催者は「近所が特別な場所に見えてくる」と強調する。

住民の力で地域の情報を書き込むイベントは「ウィキペディアタウン」などと呼ばれる。日本では2013年に横浜市で初めて開催され、長野県伊那市、北海道森町など各地に広がった。

ウィキペディアの項目はネット検索で上位に表示される傾向があり、個人がブログなどに書くよりも、地域のことをより多くの人に伝えやすいというメリットがある。

東京都世田谷区で9日、約30人が参加し開かれた「ウィキペディア街道」は、都内や神奈川県を通る「大山道」沿いの史跡に焦点を当てた。

イベントの運営 得られた知見

執筆対象の選定

- ➡ 大山道沿いの歴史的なもの
 - ➡ まだ記事が書かれていない
 - ➡ **特筆性がある**
 - ➡ 事前の文献調査が必要



- ➡ あまり知られていない歴史の発見
 - ➡ 例：二子神社と「三業組合」



会場探し

- ➡ 取材地、図書館、執筆会場が近くに揃っている必要がある
 - ➡ 図書館の少ない地域では開催が困難

	面積	図書館数
世田谷区	58.08 km ²	16館
横浜市（青葉区+緑区）	60.56 km ²	2館
海老名市	26.48 km ²	2館

- ➡ 利用料の安い公共施設の活用
 - ➡ 各地域のCode for X連携によるメリット

事前の現地調査

- ➡ 取材依頼・写真撮影承諾
 - ➡ 好意的な対応が多い
- ➡ 対象物の確認
 - ➡ 文献調査で事前に把握した物の所在確認
 - ➡ 未知の物の発見（→文献調査）



- ➡ 事前調査では気付かず、イベント当日に参加者が発見する物もある
（目の付け所は人さまざま面白い）

図書館の下見と文献調査

- ➡ 図書館の蔵書状況の把握
 - ➡ 見つけた資料はコピーしておく
 - ➡ イベント当日にないこともある
 - ➡ 資料が不十分な場合は、別の図書館で入手しておく



- ➡ 事前調査では見付からなかった資料をイベント当日に参加者が発見することも多い（参加者の調査能力は高い）

「テンプレート」の用意

➡ 寺院、神社、資料館、宿場の記事雛形

➡ 第2回のイベントから事前に用意


➡ 神社の例

1. 祭神
2. 歴史
3. 境内
4. 文化財
5. 年中行事
6. 交通アクセス
7. 外部リンク
8. 出典

執筆する内容を事前に決めておくことにより、現地と文献で調査すべき事項が明確になる

イベント当日

- ▶ 参加者のチーム分け
- ▶ チーム毎に現地調査、文献調査
 - ▶ 事前調査した運営メンバーが案内役
- ▶ 執筆
 - ▶ テンプレートの項目毎に分担
 - ▶ 全員が執筆に参加するのが望ましい
 - ▶ 執筆経験の多い参加者は難しい項目を担当
 - ▶ チーム内で**ピアレビュー**
 - ▶ 孤独な作業にならないよう
 - ▶ 文献をコピーしないよう



まとめと 今後の予定

Civic Techとウィキペディア街道

- ➡ Civic Techのめざす方向性に近い
 - ➡ 地域を知る（歴史・文化を入り口として）
 - ➡ 地域情報化
 - ➡ 地域貢献
- ➡ Civic Techのスキルを活かせる
 - ➡ ITスキル
 - ➡ 情報リテラシー
- ➡ コミュニティ間の連帯感を高める
 - ➡ 具体的なゴールを共有する
 - ➡ 具体的な成果により達成感を得る

今後の「大山道」開催予定

■ 世田谷区

- 具体的に計画立案中

■ 川崎市

- 宮前区の執筆対象を選定中

■ 横浜市

- 開催に向けて関係機関と調整中

■ 厚木市

- 執筆対象を選定済、会場探しが必要

■ 伊勢原市

- 5月に大山登山！

是非とも
ご参加下さい

他の街道への展開（希望）

➡ 水戸道中

➡ 千住～松戸～取手～土浦～石岡～水戸

➡ 甲州道中

➡ 新宿～府中～八王子～大月～甲府～諏訪

➡ 中原往還

その他、日本中にある旧街道を
Civic Techとウィキペディアでつなげたい！

ご協力宜しくお願い致します

ご清聴ありがとうございました

